

# ひがしの子

令和5年10月27日  
岐阜市立岐阜東幼稚園  
園長 藤井 佐由美

## ソニー幼児教育支援プログラム実践発表会へのご協力ありがとうございました。

去る10月14日(土)には、ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」Gathering(ギャザリング)～みんなで集おう!～@岐阜市立岐阜東幼稚園「優秀園実践発表会」を開催しました。本部役員の皆様には、駐車場や受付の手伝いをしていただきました。ありがとうございました。また、保護者の方にも、午後のグループセッションや記念講演にはご参加できるようにお誘いしたところ、数名の方にご参加いただくことができ、その他の参加者も含めて総勢132名の方のご参加がありました。参加者のアンケートから一部抜粋してご紹介いたします。

「公開保育を通して、実際の子どもたちの遊びの姿、先生方の願いが込められた環境設定、活動を通しての子ども同士の関わり、先生との関わりを参観させていただき感謝しています。ありがとうございます。お時間に制限のある中で、第2部でグループセッションを組んでいただけたことも色々な先生、保護者の方と意見交流をする機会をいただけ、科学する心や、保育環境、またご家庭での受けとめを含め、園での遊びや環境をどのようにしていくのいいかなど、具体的な話ができて勉強になりました。岐阜東幼稚園さんの「科学する心を育てる」幼児教育の実践は、素晴らしく子どもたちがいきいきと興味や関心を持って遊ぶ姿が印象的でした。自園で出来ることから少しでも取り入れたり、参考にさせていただいたりし、今回の学びを子どもたちに還元できるようにしていきたいです。岐阜市立幼稚園の皆さまには、これからも岐阜市の幼児教育をけん引される存在で、岐阜市にはなくてはならない幼稚園さんだと改めて感じました。今後とも私たち私立幼稚園へのご指導よろしく願いいたします。貴重な学びのご縁をいただき有り難うございました。」

「参加させていただいて本当によかったです。自園の職員と考え方が重なるところがたくさんあって、明日からでも一緒に保育させていただいたら楽しいだろうなあ、一緒に学ばせていただきたいなあと思うほどでした。全体的な雰囲気として、子ども一人一人の思いやペースを大切にしていると感じました。つぶやきを聞き取り、肯定的に受け止めて返されている姿もすてきだなと思います。教材研究を惜しまないという言葉はすごく心に残りました。5歳児の万華鏡づくりの環境は、保育説明やドキュメンテーション、動画視聴を通して、鏡に興味をもつきっかけからこれまでの過程が分かり、今日の保育で見られた子どもたちが集中して取り組んでいる姿や作ったもので試している様子とつながり、子どもたちにとって全て意味あるものなんだなと、取り組んでおられることがよく分かりました。以前から積み重ねてこられている保育、生活があってこそだとも感じました。自園の職員や丸亀のなかまに持ち帰るお土産がたくさんできました。ありがとうございました。」

「実際に園を見学させてもらい、とても勉強になりました。こんな保育をしたいというのが実現されていました。子どもが考えることができる環境、声かけ、声をかけるだけでなく子どもの考える時間を設けて子どもの声を拾うことが大事だと感じました。園に持ち帰り少しずつ実践して子どもと一緒にチャレンジして取り組んでいきたいと思います。」

「公開保育とともに、今日の振り返りの活動まで見られたことがとてもよかったです。どの年齢をみても、その日だけの遊びじゃなく、継続して遊んでいる足跡がわかり、それを年少から続けていることが、年齢を重ねるにあたって着々と科学する心を育てることにつながるのだと思いました。聞く力が弱くなっているといわれている世の中で、振り返りの活動や、みんなにプレゼンする活動など、さまざまな実践をしていることが写真やスライドショーでわかりとてもわかりやすかったです！今日は、ありがとうございました。先生方、おつかれさまでした！」

「本当に来てよかったです。先生も子どもたちもみんないきいきしていました。私もワクワクしてしまいました。興味を持って挑戦し失敗体験がすぐ次につながってまた楽しく挑戦していてこの子達は生きる力をつけているなど感じました。また職員みんな連れて見学したいと思いました。本当に素敵な保育を見せていただきありがとうございました。」

「岐阜東幼稚園さんでの保育を見させていただき、子ども達が繰り返し遊ぶ中で発見したり気付いたりして、学んでいることがよく伝わりました。科学する心を育てるためには、子どもの気付きを保育者が拾い、子どもと同じ目線になって環境を用意したり、深めていったりすることが大切なのだと感じました。」

「子ども達が主体となる保育とは岐阜東幼稚園のことだなと思いました。自分も先生方のような先生になれるよう頑張ります。」

「徹底的に園の先生方が、子どもを主体にして寄り添っていらしたと感じました。まさに『子どもの声を聴く』でした。私も実践したいです。」

「子どもたちの遊びのプロセスや、心の動き、ときめきを実際に目で見て学ばせていただきありがとうございました。現実問題、同じ私立でも差があることも感じながらも、保育所でも取り入れられること、できることに目を向けて、楽しく保育をしていきたいと思える機会となりました。素敵な実践発表会に参加でき、嬉しく思います。ありがとうございました。」

「先生方が子どもたちと一緒に楽しんで遊んでいるということが印象的でした。また、否定せず、常に肯定的でやってみようか!という前向きな姿勢が素敵であるなどと思いました。私も固定観念にとらわれず、まずは失敗してもいいからやってみるという気持ちを子どもと一緒に大切にしながらやってみたいです。」

## 遠足に行ってきました！！

当初20日（金）に予定していた遠足を27日（金）に延期し、最高の天候の中、達目洞と金華山に行ってきました。



達目洞では、絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヒメコウホネ」の花が、いくつも見られたようです。毎年楽しみにしながら出かけるのですが、つぼみだったり、咲いていなかったりして、こんなにきれ

いに咲いているのを見られたのは、この3年間で初めてのことです。美しい水の中でしたか咲かない花なので、それだけ、自然豊かに守られているということですね。今年度も、岐阜市環境保全課の皆さんや自然を守る会の加納さん、野尻さんたちが、楽しく自然を紹介してくださいました。逆川（さかしまがわ）に生息する生き物も、事前に捕まえてくださり、「あぶらはや」「ぬまむつ」「すしえび」など、可愛らしい生き物とたくさん触れ合うことができました。もちろん、もらって帰ってきましたので、今後は園で大切に飼育していきます。草むらでは、カエルやバッタなどの生き物を自分で見つけて大切に虫かごや入れ物などに入れて持って帰りました。



金華山では、2,400mの道のりを、今年も全員揃って登頂しました。こちらもまた、運よく休憩ポイントで、「エゾリス」を至近距離で見ることができました。しかも、2匹。警戒心なしに、子どもたちのすぐ近くまで来てくれました。こんなに可愛らしい姿です。

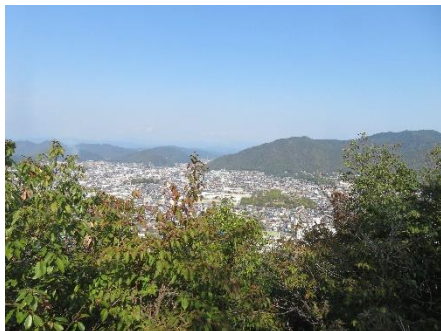




「めい想の小径」は、5歳児にとってはラストスパートの道が険しい崖になっており、なかなかの難所です。途中、複数の子どもが、「もう帰りたい。」「お母さんに会いたい」「お弁当食べたい。」「リュックサックが重たくて、持ちたくない。」「こんなだったら、幼稚園にいた方がよかった。」など、弱音を吐いていました。そんなときには別の子どもが、出発前に、担任から聞いた『みんなで力を合わせる』という約束を思い出し、「〇〇ちゃん、頑

張ろう！」「行けるよ～」「ポケットのドングリが頑張れて言ってくれてる。」「次は、8番探そうね（防火水のナンバー）」など、友達を励ます子どもの姿が見られました。そうしながら、誰一人「もうやめる」とは言わず、最後まで登り切りました。知らない間に心も体も強くなっていたのですね。

お城の中で座り込んでいる子どもに、別の子どもが2人で「どうしたの？疲れたの？」「私のデザートのにあげようか？」と声をかけていました。すると、もう一人の子どもが、「ここはハンバーガー食べたらダメなんだよね。」と言い、貼ってあるステッカーに気付いて伝えていました。実際は、「No Food」と書いてあったので、「お城の中では、食べないでねってことかな…」と伝えると、「じゃあ、山に行ったらあげるからね。」と顔を覗き込んで励ましていました。そこから、「No Burger!」の響きが気に入り、皆で何度も言いました。それを聞いて座り込んでいた子どももとびっきりの笑顔になりました。



## 《11月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

○秋の草の実や木の実を集めたり、使ったりして、自然物に興味をもつ。

○好きな遊びの中で、友達と“一緒”を楽しみながら自分の思いを自分なりの言葉で表す。



【4歳児】

<ねらい>

○自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら遊びを楽しむ。

○いろいろな素材や方法を取り入れ、自分なりに工夫して遊ぶ。

【5歳児】

<ねらい>

○自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊びを進める。

○友達を誘い合って、遊び方やルールを相談しながらみんなで遊ぶことの楽しさを味わう。



11月の保育参加では、3歳児は、「親子でバルーン遊び」や「音楽に合わせて親子遊び」などの集団遊びをして過ごします。4歳児は、転がしドッジボール「親子対決」があります。5歳児は、ドッジボール「親子対決」です。5歳児は、日頃楽しんで活動する中で、最近では、「キャッチする」ことに挑戦するようになり、投げる力も逃げる力も少しずつ強くなってきています。たいよう組VSなつめ組で、対戦する姿も多くなっています。保護者の方も、体を鍛えてお越しく下さい。楽しみにしててくださいね。



## お知らせとお願い

### ○駐車場利用について

寒くなってきたこともあり、車での送迎が増えてきました。車をとめやすいように前面に印をつけてもらったのですが、普通車サイズで印をつけてあるため、軽自動車の場合、若干幅が広いようです。そのため、軽自動車を駐車する際には、印通りではなく、順にできるだけ詰めてとめていただくとありがたいです。そうかと言って、寄り過ぎて隣の車にドアを開ける際など接触しないように注意してくださいね。

また、降園後の園庭開放を利用される際には、南北の方向に、奥から順に横並び（東西に）1列目、1列目がいっぱいになったら、2列目、3列目、4列目…というように縦列に詰めて駐車してください。15時には、一斉に車を出していただきますようご協力お願いします。そのため、園庭開放を利用されない方は、駐車場の出入り口方面（北側）から順に、印に添って（軽自動車は北から印に関係なくできるだけ詰めて）駐車してください。

いずれの場合も、登降園時は、車が込み合いますので、事故のないよう十分に注意して車を出し入れしてくださいね。

また、西門の鍵が変わりました。片手でも容易に開閉できるようになっています。スライドし過ぎると壊れてしまうことがありますので、優しくスライドするようにしてください。